

平成29年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（後期）
（口述試験その他）心理システム科学専修・英語文献読解等 全2枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 2枚、解答用紙 4枚を配付する。

「英文読解」「英作文」とともに別紙の解答用紙を使用すること。なお、解答用紙の4枚目は、メモや下書きに使用してもよい。

§ 英文読解

別紙（問題用紙2枚目）の英文を読み、英文読解解答用紙の問いに答えなさい。

§ 英作文

次の日本語を英語に訳し、英作文解答用紙に書きなさい。

感情は、認知的評価、主観的気分、生理反応、表情、行為傾向など、多くの要素によって構成され、一言で定義し測定することは難しい。それでも音楽心理学者は、主として二つのアプローチから演奏者と聴衆の間の感情のコミュニケーションについて研究してきた。一つ目のアプローチでは、感情を喜び、悲しみ、恐れなどのカテゴリーとして扱う。もう一つのアプローチでは、感情価や覚醒度といった、連続的な指標に基づいて感情を測定する。これらの方法で定義された感情を演奏者がどのように符号化するのか、そして聴衆がその演奏から感情を解読する際、音響的あるいは視覚的手がかりをどのように使うのかを探求するのである。

演奏： music performance

聴衆： audience

感情価： valence

音響的： acoustical

出典：パーンカット, R., & マクファーソン, G. E. (編) (2011). 演奏を支える心と科学. 東京：誠信書房. (原著出版 2002) より p. 345 の内容一部を引用・改変。

- * 英文読解用の問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Medved, M. I., Cupchik, G. C., & Oatley, K. (2004). Interpretative memories of artworks. *Memory*, 12(1), 119-128. より一部改変。

受験番号	
------	--

§ 英文読解解答用紙

1) この英文は、ある研究論文の目的部分の一部である。英文に最も適切と考える英語のタイトルを付けなさい。

2) 第一パラグラフにある下線部(1)を、日本語に訳しなさい。

3) 第二パラグラフには、美術作品の記憶は、記憶の構成を調べる上で豊かな材料となると書かれている。なぜ豊かな材料となり得るのか、その理由を書きなさい。
